



渡辺由佳 著

『スラスラ話せる敬語入門』

(かんき出版)

日本語が乱れている現代社会において、正しい敬語を話すことはとても重要な課題です。敬語をうまく使いこなすためには何回も発音して慣れることが一番効果的だといえます。

本書には状況に応じた敬語の言い回しがわかりやすく書かれており、実践ですぐに役立ちます。ポイントもあげられていますので、何度か声にだして練習すれば、きちんとした日本語が自然に身についてくるのでは。是非この一冊をアルバイトや就職の面接試験に活用してください。

336.47-Wat (N.K.)

中村るい [ほか] 著

『西洋美術史』

(武蔵野美術大学出版局)

「西洋美術」と聞いて、思い浮かべるのは何でしょうか。キリスト教の宗教画、荘厳な作りの建築物、鮮やかな色彩の油絵・・・色々なものがありますが、この本は古代エジプトやギリシャから現代美術まで5つの章で、その時代の歴史と美術の特徴が具体的な作品と共に書かれています。

教科書やテレビ等で一度は見たことのある、おなじみの作品の裏に隠れた歴史を知ることの出来る一冊です。

702.3-Seiy (Y.Y.)



アル・ゴア 著 枝廣淳子 訳

『不都合な真実：切迫する地球温暖化、そして私たちにできること』

(ランダムハウス講談社)

私たちの住む地球は今、人間が経済活動の発展を重視するあまり、温暖化という非常事態に直面しています。

長年、温暖化問題に積極的に取り組んできたアメリカ元副大統領のアル・ゴア氏による本書からは、温暖化の事実、そしてその危機的な状況がありありと伝わってきます。それは黙殺したくなるような「不都合な真実」かもしれません。しかしこの真実を知ること、それが地球のためにあなたができる最初の一歩となるのではないのでしょうか。

451.35-Gor (H.T.)

齋藤 孝 著

『教育力』

(岩波書店)

著者は本書の中で、教師のあるべき姿について様々な観点から述べています。

学習意欲や向上心を掻き立てる方法として、緒方洪庵の適塾や吉田松陰の松下村塾における教育を例に取り、厳しさばかりでなく優しさ、そしてそこで築かれたクリエイティブな人間関係に注目しています。

また、思考を促す問いかけ方、問題作成の方法など、著者が研究し実践してきた経験を基にしているので説得力があり、学校ばかりでなく、様々な職場での指導にも応用できることが述べられています。

370.4-Sai (F.O.)